

東京大学グローバルCOEプログラム「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」
創立一周年記念国際シンポジウム
「未来社会への鍵 エネルギー・セキュリティと原子力教育研究」

1．発表概要：

東京大学グローバルCOEプログラム「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」は、創立一周年を記念し、2008年10月8日から10日までの間、エネルギー・セキュリティと原子力教育研究をテーマとして国際シンポジウムを開催します(開催場所:東京大学武田先端知ビル・武田ホール)。特別講演及びCOEの活動の報告や成果発表並びに海外の大学関係者を招聘した原子力教育研究の実践経験の報告などを予定しています。

報道関係者の皆さまには、本国際シンポジウムについて広くご周知頂きますようお願い致します。

2．発表内容：

創立一周年を記念し、総合シンポジウムとしては第3回となる今回は、2008年10月8日から10日まで実施する予定です。

10月8日は拠点リーダーの岡芳明(大学院工学系研究科原子力専攻 教授)による1年間余の活動の総括報告及び拠点メンバーによる原子力エネルギー及び放射線応用分野での活動成果の発表を、10月9日は西尾茂文本学理事・副学長による成熟社会におけるエネルギーの需給構造に関する特別講演及び原子力社会学分野での活動成果の発表やエネルギー・環境・経済分野での発表を予定しています。10月10日は国際シンポジウムとして米国・中国の大学関係者を招聘し、原子力教育研究の実践経験の報告とパネル・ディスカッションを企画しています。

3．問い合わせ先：

〒113-0032 東京都文京区弥生2-11-16 工学部12号館原子力国際専攻内
東京大学 グローバルCOEプログラム「世界を先導する原子力教育研究
イニシアチブ」事務局
TEL:03-5841-7010 FAX:03-5841-2957
E-mail:gcoesymp@nuclear.jp

4．添付資料：

- (1)開催案内
- (2)参加申し込み用紙
- (3)東京大学 グローバルCOEプログラム「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」概要
- (4)当日プログラム
- (5)シンポジウムチラシ

創立一周年記念 国際シンポジウム
「未来社会への鍵 エネルギー・セキュリティと原子力教育研究」
開催案内

東京大学では、文部科学省グローバルCOEプログラム拠点の一つとして、「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」を2007年度に創立し、各位のご支援をいただきながら活動を続けております。

このたび創立一周年を記念し、来る2008年10月8日・9日・10日の三日間、国際シンポジウム「未来社会への鍵 エネルギー・セキュリティと原子力教育研究」を開催いたしますので、お知らせいたします。

1. 主旨:

地球環境保護とエネルギー安全保障のために原子力が世界的に再認識されています。しかし一方では、社会と原子力利用とのかかわりにおいて、従来の原子力工学では解決できない多くの課題が生じています。

本拠点では、文理の学際複合領域である原子力の特徴を世界に先駆けて教育研究に取り入れ、人文社会系科目を含む体系的教育の基礎の上に、社会の中の原子力問題の解決をはかり、原子力新世紀に対応し世界をリードする人材を育成することを目的として、この一年活動を続けてまいりました。

総合シンポジウムとしては第3回となる今回は、以下のようなプログラムで2008年10月8日から10日まで実施する予定であります。過去2回に比べ、活動成果を踏まえたより深みのある内容を予定しております。

10月8日は拠点リーダーの岡芳明(大学院工学系研究科原子力専攻 教授)による1年間余の活動の総括報告及び拠点メンバーによる原子力エネルギー及び放射線応用分野での活動成果の発表を、10月9日は西尾茂文本学理事・副学長による成熟社会におけるエネルギー需給構造に関する特別講演及び原子力社会学分野での活動成果の発表やエネルギー・環境・経済分野での発表を予定しています。

10月10日は国際シンポジウムとして米国・中国の大学関係者を招聘し、原子力教育研究の実践経験の報告とパネル・ディスカッションを企画しています。

また、拠点若手研究者による研究紹介の場として、三日間を通してのポスター発表を計画しております。

2. 開催日時:
- | | | |
|-----------|---------------|-----------------------|
| 10月 8日(水) | 10:00 ~ 19:00 | 報告 |
| 10月 9日(木) | 9:30 ~ 18:00 | 講演、報告 |
| | 18:00 ~ 19:00 | 懇親会 |
| 10月10日(金) | 9:30 ~ 15:00 | 講演、パネル・ディスカッション(英語使用) |

3. 開催場所: 東京大学 武田先端知ビル 5階 武田ホール
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-11-16
(本郷キャンパス浅野地区内、東京メトロ 千代田線根津駅下車徒歩5分、南北線東大前駅下車徒歩7分)
(付近地図: http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html)



4. 参加費: 講演、報告、パネル・ディスカッション:無料
懇親会: ¥2,000 (受付時にお支払い下さい)
5. 参加申込み: 別紙「参加申込書」に氏名、所属、連絡先、懇親会の参加の有無をご記入の上、
以下の申し込み先に FAX または E-mail にてお申込み下さい。【申込期限: 9月30日(火)】
6. 申込・お問合せ: 〒113-0032 東京都文京区弥生 2-11-16 工学部 12 号館原子力国際専攻内
東京大学 グローバルCOEプログラム
「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」事務局
TEL: 03 - 5841 - 7010 FAX: 03 - 5841 - 2957
E-mail: gcoesymp@nuclear.jp

東京大学グローバルCOEプログラム「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」

創立一周年記念 国際シンポジウム
「未来社会への鍵 エネルギー・セキュリティと原子力教育研究」
参加申込用紙

宛先:

東京大学 大学院工学系研究科 原子力国際専攻内
東京大学グローバルCOE「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」事務局

FAX: 03-5841-2957 / E-mail: gcoesymp@nuclear.jp

参加申込み期限: 9月30日(火)

氏名	フリガナ
所属	
部署	
役職	
住所	郵便番号
TEL	
FAX	
E-mail	
懇親会 (参加費¥2,000)	出席・欠席 (どちらかを消してください)

* 参加申込みは当日会場でも可能ですが、整理の都合上、なるべく事前をお願いします。

* ご提供いただきました個人情報につきましては、本シンポジウムに係わる用途・目的のみに使用いたします。

* ご不明な点がありましたら、事務局までお問合せ下さい。

東京大学 大学院工学系研究科 原子力国際専攻内
東京大学グローバルCOE「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」
事務局

TEL: 03 - 5841 - 7010 FAX: 03 - 5841 - 2957

E-mail: gcoesymp@nuclear.jp

【参考】

東京大学グローバルCOE「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」の概要

(和文 <http://www.u-tokyo.ac.jp/coe/japanese/list/base6.html>)

原子力利用の進展にともない、社会と原子力利用とのかかわりにおいて、個別断片的であった従来の原子力工学では解決できない多くの課題が生じています。理工学系の教育研究だけでは、この問題を正しく理解し対処できません。これは日本のみならず世界の原子力共通の問題です。

地球環境保護とエネルギー安全保障のために原子力エネルギーの利点が世界的に再認識され、多数の原子力発電所の建設計画がすすむなど、原子力ルネッサンスと呼ばれる時代が到来しています。特に日本の原子力産業と研究開発は海外進出・国際化という歴史的転回点にあります。社会の中の原子力問題の解決をはかり、原子力新世紀に対応し**世界をリードする人材を育成**する必要があります。

本拠点では文理の学際複合領域である原子力の特徴を**世界に先駆けて**教育研究に取り入れ、社会人文系科目を含む体系的原子力教育の基礎の上に次の3つのイニシアチブを一体的に推進し、豊かで安心な社会の実現に貢献します。

1. **原子力社会学教育研究イニシアチブ**は、学内外との連携により「原子力法工学」、「核不拡散」、「技術と社会の調和」を教育研究します。「原子力法工学」は原子力規制法体系のあるべき姿を追求します。行政庁では法規そのものの良否を議論できません。原子力規制体系の問題点の検討、その分類整理、課題解決方法を総合大学としての東大の利点を生かして学内外との連携により教育研究します。「核不拡散」は原子力平和利用にとって重要です。核不拡散の技術と制度の課題を国内外の機関と共同で教育研究します。「技術と社会の調和」は原子力の国民理解の問題を扱います。原子力コミュニケーションのあるべき姿を検討し、科学技術全般に対するリテラシー向上など解決策を探ります。市民講座などを開催して実践的に研究教育を行います。

2. **原子力エネルギー**は、未来型原子力エネルギーと発電プラントの安定で安全な運転を旨とした原子力プラント保全工学、放射性廃棄物処理処分を重点課題としています。利用にともなって発生する使用済み燃料のリサイクル・放射性廃棄物の処理処分と多数の原子力発電所の安全安定運転は環境にやさしく競争力ある未来型原子力エネルギーシステムとともに原子力エネルギー利用の最重要課題でありそのフロンティアを開拓します。

3. **放射線応用**は、がん治療の普及のために加速器や診断設備の小型化など研究開発的医学物理の展開を図るとともに、それら技術の原子力プラントの保全・診断・検査への応用を図ります。

原子力社会学と原子力エネルギー・放射線応用の教育研究との連携を進め、原子力と社会の問題の困難さや要点を俯瞰できる原子力科学技術のリーダーを育成します。

創立一周年記念 国際シンポジウム プログラム
“ 未来社会への鍵 エネルギー・セキュリティと原子力教育研究 ”
International Symposium commemorating the First Anniversary of the Foundation of GoNERI
“A Key to the Future Society Energy Security and Nuclear Education & Research”

2008年10月8日 東京大学グローバルCOE「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」
成果報告(第1日)

場所: 東京大学 武田先端知ビル 5階 武田ホール

10:00 - 10:30 活動報告と今後の展開 岡 芳明 拠点リーダー

10:30 - 11:30 原子力エネルギー(核燃料サイクル・廃棄物処理)
「核燃料サイクル、放射性廃棄物処分の社会工学」 田中 知 教授
「廃棄物処分と岩盤の自己修復機能」 大久保誠介 教授
「放射性廃棄物処分の科学」 長崎晋也 教授

11:30 - 13:30 昼休み、博士課程大学院生と若手研究者のポスター発表

13:30 - 15:30 原子力エネルギー(原子力システム)
「未来型原子力システム」[*] 岡 芳明 教授
「原子炉熱流動の可視化によるアプローチ」 岡本孝司 教授
「次世代炉の解析による構造設計技術の開発」 笠原直人 教授
「シミュレーション科学」 越塚誠一 教授
「X線CTを用いたAI合金ダイカストの疲労強度予測」 吉川暢宏 教授
「先進核融合エネルギーへの挑戦と研究現場での専門教育」 吉田善章 教授

15:30 - 15:40 休憩

15:40 - 17:00 原子力エネルギー(保全・材料)
「システム保全」[*] 関村直人 教授
「ナノスケール解析・放射線効果」[*] 阿部弘亨 准教授
「原子力材料データベース」[*] 岩田修一 教授
「環境エネルギー材料科学」[*] 寺井隆幸 教授
「保全・データ処理」[*] 出町和之 准教授

17:00 - 17:10 休憩

17:10 - 19:00 放射線応用
「先進小型加速器・医学物理」[*] 上坂 充 教授
「加速器質量分析・同位体システム・地球環境科学」 松崎浩之 准教授
「放射線化学の研究展開と連携」 勝村庸介 教授
「高度放射線計測・診断技術開発」[*] 高橋浩之 教授
「放射線安全学」[*] 小佐古敏荘 教授
「植物研究における放射線の利用」 中西友子 教授

【*】プログラムの詳細は現在編成中ですので今後変更の可能性があります。ご了解下さい。
This program is tentative.

創立一周年記念 国際シンポジウム プログラム
“ 未来社会への鍵 エネルギー・セキュリティと原子力教育研究 ”
International Symposium commemorating the First Anniversary of the Foundation of GoNERI
“A Key to the Future Society Energy Security and Nuclear Education & Research”

2008年10月9日 東京大学グローバルCOE「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」
成果報告(第2日)

場所: 東京大学 武田先端知ビル 5階 武田ホール

09:30 - 11:00 原子力社会学(法工学)

「原子力社会学活動概況」[*]	班目春樹 教授
「原子力法工学研究と社会的側面」[*]	寿楽浩太 特任助教
「原子力法工学研究と技術的側面」[*]	西脇由弘 客員教授

11:00 - 12:00 特別講演「成熟社会におけるエネルギー需給構造」 西尾茂文 東京大学副学長

12:00 - 13:30 昼休み、博士課程大学院生と若手研究者のポスター発表

13:30 - 15:00 原子力社会学(コミュニケーション、他)

「原子力発電所内請負労働者の安全衛生教育訓練問題について」	縄田和満 教授
「パブリックコミュニケーション」[*]	木村 浩 准教授
「リスクガバナンスの技術横断比較」[*]	神里達博 特任准教授

15:00 - 15:30 休憩

15:30 - 16:30 原子力社会学(国際保障学)

「核不拡散に係る政策・技術研究について」	久野祐輔 客員教授
「核不拡散から考えたアジア地域核燃料サイクル構想」	Choi Jor-Shan 特任教授

16:30 - 17:50 エネルギー・環境・経済

パネルディスカッション「持続可能社会への原子力貢献」	
モデレーター	長野浩司 氏(財)電力中央研究所)
パネリスト	櫛屋勝巳 客員教授(東京大学 IR3S)
	松橋隆治 教授
	藤井康正 教授

18:00 - 19:00 懇親会(武田先端知ビル・ホワイエ)

【*】プログラムの詳細は現在編成中ですので今後変更の可能性があります。ご了解下さい。
This program is tentative.

創立一周年記念 国際シンポジウム プログラム
“ 未来社会への鍵 エネルギー・セキュリティと原子力教育研究 ”
International Symposium commemorating the First Anniversary of the Foundation of GoNERI
“A Key to the Future Society Energy Security and Nuclear Education & Research”

2008 年 10 月 10 日 国際シンポジウム
October 10, 2008 International Symposium

International Symposium on EXPERIENCES IN NUCLEAR EDUCATION AND RESEARCH
At Takeda Hall, Asano Campus, University of Tokyo

09:30 - 12:30 Invited Lectures

- “Experiences in Radiation Application at UC Berkeley” [*]
Prof. Jasmina Vujic (UC Berkeley)
- “Experiences in Radiation Application at Tsinghua Univ.” [*]
Prof. Chuanxiang Tan (Tsinghua Univ.)
- “Experiences in Nuclear Fuel Cycle at UC Berkeley” [*]
Prof. Joonhong Ahn (UC Berkeley)
- “Experiences in Nuclear Energy at Shanghai Jiao Tong Univ.” [*]
Prof. Yanhua Yang (Shanghai Jiao Tong Univ.)
- “Experiences in Medical Application at Univ. of Minnesota” [*]
Prof. Yoichi Watanabe (Univ. of Minnesota)
- “Experiences in Nuclear Energy at Tsinghua Univ.” [*]
Prof. Kan Wang (Tsinghua Univ.)

12:30 - 13:30 Lunch time, and Poster Session by PhD students & young researchers of GoNERI

13:30 - 14:00 Invited Lecture

- “Experiences and Education activities at DOE, ANS and IAEA” [*]
Dr. Gail H. Marcus (Consultant on nuclear power technology and policy, USA)

14:00 - 15:00 Panel Discussion

- “Advancement in Nuclear Education & Research” [*]
Moderator Prof. Yoshiaki Oka (Univ. of Tokyo)
Panelists Prof. Jasmina Vujic (UC Berkeley)
Prof. Chuanxiang Tan (Tsinghua Univ.)
Prof. Joonhong Ahn (UC Berkeley)
Prof. Yanhua Yang (Shanghai Jiao Tong Univ.)
Prof. Yoichi Watanabe (Univ. of Minnesota)
Prof. Kan Wang (Tsinghua Univ.)
Dr. Gail H. Marcus (Consultant on nuclear power technology and policy, USA)

【*】プログラムの詳細は現在編成中ですので今後変更の可能性があります。ご了解下さい。
This program is tentative.



東京大学グローバル COE
「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」
創立一周年記念シンポジウム

～未来社会への鍵～

エネルギー・セキュリティと原子力教育研究

2008年10月8日(水)・9日(木)・10日(金)

開催場所：東京大学 武田先端知ビル 5階 武田ホール

プログラム

10月8日 10:00～19:00

原子力エネルギーと放射線応用分野の成果報告

10月9日 9:30～19:00

原子力社会学分野の成果報告

特別講演「成熟社会におけるエネルギー需給構造」 西尾茂文 東京大学副学長

パネル・ディスカッション「持続可能社会へのエネルギー戦略」

懇親会

10月10日 (October 10) 9:30～15:00

International Symposium

Invited Lectures on “Experiences in Nuclear Education and Research”

Panel Discussion on “Advancement in Nuclear Education and Research”

お問い合わせ

東京大学グローバル COE

「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」事務局

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学 大学院工学系研究科 原子力国際専攻内

TEL 03-5841-7010 FAX 03-5841-2957

E-mail gcoesymp@nuclear.jp

参加費：無料（懇親会：¥2,000）

